

「旧吉田茂邸」見学と「旧三井別邸庭園」散策



朝から快晴の絶好のイベント日和に恵まれた9月29日（金）、湘南大磯の城山公園を訪ねました。総勢37名全員が集合時間前に大磯駅前に集合、駅前よりバスに乗り目的地の城山公園に向かいました。県立大磯城山公園は、～湘南の風土と邸園文化の継承、おもてなし～をメインテーマにした

「旧三井別邸地区」と「旧吉田茂邸地区」からなる3万坪の広大な観光スポットです。「三井別邸庭園」は明治時代に三井財閥の当主の別荘として庭園整備が行われ、今は県立城山公園として一般公開されています。



展望台より相模湾、伊豆半島、富士山が一望でき、また、ひかりの広場やふれあいの広場等起伏にとんだ地形の散策コースを汗かきながら上り下り、普段の運動不足が解消できました。



その後、「旧吉田茂邸」へ向かいました。3班に分かれてガイドの案内により見学を実施、旧吉田茂邸は戦後の内閣総理大臣を務めた吉田茂が暮らしていた邸宅でしたが、平成21年火災で焼失。大磯町で再建し本年4月に一般公開されました。1万坪の敷地の中に邸宅と庭園が当時と同じように復元されています。（近代数寄屋建築で有名な吉田五十八の設計した新館をメインに再建）当初は養父の吉田健三が別荘として建てたのを吉田茂が引き継ぎ、昭和20年より本邸とし、晩年はこの地で過ごしたとされています。



宅内は金の間（応接間）、銀の間（寝室兼書斎）楓の間（応接間兼執務室）など多くの部屋があり、外国の要人、政界の実力者などとの会食に使われていたのでしょうか。海に面した小高い丘に立つ吉田茂の銅像は太平洋の遥か東のサンフランシスコを見つめていました。



邸宅内散策後現地にて解散、バスにて帰路大磯駅に、懇親会参加者は平塚駅に向かい、21名の方の参加で恒例の懇親会を平塚駅近くで和やかに行い、再会を約し無事散会しました。

